

会場所在地



会場までの交通機関

- ※駐車場のご用意がございませんので、ご来場の際は、公共の交通機関等をご利用くださいますよう、お願い申し上げます。



開催要領

趣 旨

8020割合が5割を超える時代となったが、少子高齢化が急速に進み、糖尿病やがん等の基礎疾患への対応等を行い、健康寿命の延伸を図る上での歯科保健サービスの関わりが重要となっている。

今回のフォーラムでは、始まってから30年近くが経つ8020運動の成果をふりかえりながら、この運動のこれからの展開を考えていくとともに、入院患者や要介護者の口腔管理を進めていくことを含めた医科歯科連携の推進に焦点をあてて、歯の喪失防止と口腔の機能の回復等をいかに進めることができるかを考える。

テ ー マ	「健康寿命の延伸と新たな8020運動の展開」～医科歯科連携をいかにすすめていくべきか～
主 催	公益財団法人 8020推進財団
後 援	厚生労働省、(公社)日本歯科医師会、（公社）日本医師会、（公社）日本薬剤師会、 (公社)日本歯科衛生士会、(公社)日本歯科技工士会、(一社)日本学校歯科医会、 (一社)日本歯科商工協会、(公社)母子保健推進会議、（公社）日本看護協会 (一社)日本家族計画協会、(公社)日本栄養士会、(公財)母子衛生研究会、 (一財)日本食生活協会、(一財)日本公衆衛生協会
開 催 日 時	平成29年12月2日(土) 午後1時～同5時(12時30分受付開始)
開 催 場 所	歯科医師会館 1階大会議室 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20 電話 03-3512-8020 FAX 03-3511-7088
参加対象者	歯科医師、歯科保健関係者、行政関係者、教育関係者、医療関係者、一般市民 等
参 加 費	無 料
定 員	250名
申 込 方 法	平成29年11月27日（月）までに、別紙申込書にご記入の上、FAXにて、お申込みください。 ・定員は250名で、申込は先着順とします。改めて参加証はお送りいたしません。 ・会場の関係でお断りする場合は、ご連絡いたします。
お 問 合 せ 申 込 先	(株)社会保険研究所 〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル 電話 03-3256-8934 FAX 03-3252-7971

プログラム

総合司会：公益財団法人8020推進財団
常務理事 小玉 剛

時 間	(所要時間)	内 容	演 題	演 者
12:30～		受 付 開 始		
13:00～13:05	(5分)	開会のことば	公益財団法人8020推進財団 常務理事	小玉 剛
13:05～13:15	(10分)	挨 拶	公益財団法人8020推進財団 理事長	堀 憲郎
13:15～14:00	(45分)	特 別 講 演	『『8020運動』の30年をふりかえり、その将来を展望する』 公益財団法人8020推進財団 元理事	宮武 光吉
14:00～14:15	(15分)	講 演 ①	「歯科保健医療ビジョンについて」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長	田口 円裕
14:15～14:35	(20分)	講 演 ②	「糖尿病患者への歯科治療の効果」 岡山大学歯学部医歯薬学総合研究科 予防歯科学分野 教授	森田 学
14:35～14:40	(5分)	休 憩		
14:40～15:00	(20分)	講 演 ③	「口腔機能の向上と歯科保健の向上に向けて」 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長	渡邊 裕
15:00～15:20	(20分)	講 演 ④	「糖尿病診療における医科歯科連携の重要性」 東京大学大学院医学系研究科分子糖尿病科学講座 特任准教授	脇 裕典
15:20～15:40	(20分)	講 演 ⑤	「地域で『口から食べること』を支えるために ～歯科診療所の役割と地域医療連携～」 公益社団法人日本歯科医師会 地域保健委員会 副委員長	細野 純
15:40～15:50	(10分)	休 憩		
15:50～17:00	(70分)	シンポジウム	「健康寿命の延伸と新たな8020運動の展開」 ～医科歯科連携をいかにすすめていくべきか～ 進行（座長）／公益財団法人8020推進財団 専務理事 公益財団法人8020推進財団 嘱託 ・ 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 ・ 岡山大学歯学部医歯薬学総合研究科予防歯科学分野 教授 ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長 ・ 東京大学大学院医学系研究科分子糖尿病科学講座 特任准教授 ・ 公益社団法人日本歯科医師会 地域保健委員会 副委員長	高野 直久 上條 英之 田口 円裕 森田 学 渡邊 裕 脇 裕典 細野 純
17:00		閉会のことば	公益財団法人8020推進財団 常務理事	蓮池 芳浩